



## 留寿都診療所の ワークシェア

羊蹄医師会  
留寿都診療所 所長  
糸 矢 宏 志

私は現在、人口1,900人程の留寿都村の村立診療所に勤務しています。入院ベッドのない、外来・在宅診療のみの診療所です。この規模の市町村立無床診療所なら、大抵医師一人で診療していることが多いのではないのでしょうか。私がかつて勤務していた村立島牧診療所もそうでした。しかし、当診療所はもう一人（大泉樹医師）と二人で、診療日を完全に半分わけにして診療しています。要するに毎月半分しか留寿都診療所で仕事をしていないということです。

診療所に出ない日は、各自が自由に使うことができます。私は以下のように利用しています。①道内の医師不足で困っている医療機関へ診療や当直の支援に行く、②家や家族にかかわるさまざまなこと（特に平日にゆっくり銀行や役場へ行けるのが良い）、③家庭菜園、④ストレス解消、健康増進のためのトレーニング、⑤趣味の読書など。一方、大泉医師は海外保健協力を行うNPO「どさんこ」の代表を務めており、東日本大震災の被災地やカンボジアやネパールでの支援のために診療所勤務でない日を使っているようです。

二人でワークシェアする利点のほんの一部ですが、以下に紹介します。①診療担当の交代日には気になる患者の申し送りをするが、その際に対応に悩んだ症例について相談できる、②健診の画像診断のダブルチェックができる、③村内唯一の医療機関の医師でありながら、当番でない日は急患で呼ばれる心配なく自宅ゆっくりできる、④毎月確実に数日は平日に休みがとれるし、子供の行事などに予定を空けておくことが容易にできる、⑤緊急時（例えば家族や自分の急病など）に仕事を代わってもらえる、⑥他の医療機関を支援に行くことで、普段出合うことのない症例に遭遇して勉強になる。その上、支援先の医療機関からとても感謝される。

大泉医師が一人で診療していた診療所に、5年前に私が合流する形でこのようなワークシェアが始まりました。「一つの村を一人で24時間365日責任を持つ」という大変さをお互いよく理解していたので、お互いにとって願ったり叶ったりの仕事環境になりました。大泉医師がそれまで一人でもらっていた村からの報酬を二人で半分ずつ分けることにしたため、収入は少なめなのが唯一の難点でしょうか。しかし、セレブな生活はできなくてもそれなりに心豊かに生活できているように思います。



## 今、へき地医療で何が 起こっているのか？

羊蹄医師会  
ニセコ医院 理事長  
河 合 貴 之

地域医療崩壊と言われますが、それを体験することにはさほど時間は要しませんでした。

私は特別介護老人ホームの嘱託医になっていますが、そこでも、看護師不足の事態に陥ってしまいました。50人入所している施設に看護師2人で日勤、夜間オンコールと振り分けていました。看護師2人24時間体制で、入所者を診ていくのは体力的に限界にきており、土日は看護師不在の状況が出てくるため、自ずと私もオンコール体制に組み込まれました。

50人くらい入所の特別介護老人ホームも元気な方ばかりではなく、その事態はすぐに起こりました。吐血です。大量に吐血したため、緊急にて内視鏡が必要と考えました。早速近医（車で30分位）の病院に電話し患者受け入れを頼みましたが、内視鏡医がないとのことで断られました。そこで車にて1時間位の別の病院に電話しましたが、やはり内視鏡医がないとのことで断られました。やむなく、車で1時間半から2時間かかる病院に電話しましたが、「そういう状態なら近くの病院の方が良いので別の病院へお願いして下さい」と言われてしまいました。その後2、3件電話し、やっとのことで受け入れOKの病院を見つけました。それまでに約1時間半位たっておりまして。患者の発症から病院についた時間まで約3、4時間の空白をつくっております。幸い患者はマロリーワイスによる吐血で、検査時には止血されており事なきを得ましたが、これがアクティブな出血であれば恐らく患者は助からなかったでしょう。

10分でも救急車が遅れ、病院の到着が遅れて新聞沙汰になる東京と比べ、発症から3時間かかっても何も問題にならない環境は、実に田舎の患者はかわいそうだなとつくづく思いながら、帰りの救急車の中で、今回の出来事を振り返ってみました。現代の医療は病院それぞれの専門性が高くなり、自分の専門分野以外の患者であれば診ることができなくなっています。これは医療過誤にもつながり、すぐ新聞や雑誌でとりあげられてしまう環境が一つの要因となっていると思います。昔からここで開業している外科出身の父は、お産も経験しており、あらゆる分野の患者を診たと言っております。それが今の社会のニーズに合致しているとは思いませんが、専門医の育成のみならず、そういう総合医を育てることも必要ではないのでしょうか。